

1 国語に関する調査

【特長】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題はできている。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかを見る問題はできている。

【課題】

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題が見られる。聞くときの場面や状況を意識できるよう指導を工夫していく。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題が見られる。目的に応じて必要な情報かどうかを確かめたり、情報と情報の関係を考えたりしながら読む授業を充実させる必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかを見る問題はできている。
- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかを見る問題は無解答がなく、児童の正答率が高い。

【課題】

- ・異分母の分数の加法の計算をすることはできているが、数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分で捉えることに課題が見られた。0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えられるようにする学習活動を充実させていく。
- ・「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がある。基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるよう指導を工夫していく。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、「結果」や「問題に対するまとめ方」を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができている。

【課題】

- ・電気が通る回路のつくり方について理解し、自分の考えを表現することに課題が見られる。解決したい問題を見いだすことや、学習を通して得た知識を活用して、理解を深めるような学習活動を充実させていく。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対し、肯定的に回答した児童の割合が高かった。今後も、道徳科や特別活動の時間を中心にいじめ防止の啓発を進めるとともに、教職員全体で児童への支援体制の充実を図っていきたい。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に對し、肯定的に回答をした児童の割合が高かった。

【課題】

- ・国語や算数の授業で学習したことは将来役に立つと考えているが、国語や算数の勉強が好きだと回答した児童の割合は低かった。児童が興味関心を持つよう、学習指導の仕方を工夫していく。
- ・学校の授業時間以外に、普段、読書をしないと回答した児童が多かった。読書の時間を設けたり、学校図書館を活用するよう声かけをしたりして、本に興味を持つ機会を増やしていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・児童一人一人の学びを確かなものにするために、校内の研究では「ICT 機器を活用した授業づくり」をテーマにし、引き続き児童主体の学びについて研究していく。
- ・文章を読み取る力をつけるため、読書の時間を充実させるとともに、学習の中でも場面をイメージさせたり、問われている内容について確認したりしながら、児童が自ら思考する機会を増やす。
- ・学習の基礎・基本の定着と、児童の自ら学ぶ意欲を高めることを目的とした家庭学習の推進に努める。
- ・児童が安心して楽しい学校生活を送れるよう、これまで以上に、悩みを抱えたり不安を感じたりした際に先生や学校にいる大人に気軽に相談できるような雰囲気づくりを心がけていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・毎日朝食をとることや、同じくらいの時刻に寝起きすることなど、基本的な生活習慣の定着については、学校でも引き続き指導してまいります。ご家庭でも、ぜひ温かい声かけをお願いいたします。
- ・放課後や休日には、家庭学習や読書の時間を生活の中に取り入れていただき、お子さまの成長に応じた学習環境づくりと、励ましの言葉掛けをお願いいたします。
- ・地域とのつながりは、子どもたちの安心・安全な生活に大きく関わっています。今後も、見守りや声かけを通して、地域全体で子どもたちを支えていけるようご協力をお願いいたします。